

1.はじめに 提案の経緯と趣旨

曾谷小学校周辺地区では、これまでも自治会や商店会、曾谷小学校、曾谷小学校PTA等が地域の防犯パトロールや道路・公園等の維持管理活動を行い、また、多くの地域住民がボランティアパトロールに取り組み、地域の安全・安心の確保に努めてまいりました。

こうした中、平成18年度に市川市の「防犯まちづくりモデル地区調査」において本地区がモデル地区に選定されました。本調査では、地区の自治会、商店会、小学校、PTA、警察、市川市等の関係者が集い「曾谷小学校周辺地区防犯まちづくり検討委員会」を立ち上げ、これまでの活動や防犯上の課題を把握・整理するとともに、地区内の暗がり診断を実施し、今後の防犯まちづくりの取組みについての検討を重ねてまいりました。そして、検討委員会における検討の成果を整理・集約し、本地区に相応しい「防犯まちづくり計画」を作成しました。

「防犯まちづくり計画」は、曾谷小学校周辺地区の防犯まちづくりに関する行動指針として作成したものです。本計画により、防犯まちづくりの取組みが今後も継続的に実施され、犯罪や不安感の少ない魅力的な地域が形成されることを願っております。

市川市の防犯まちづくりモデル地区

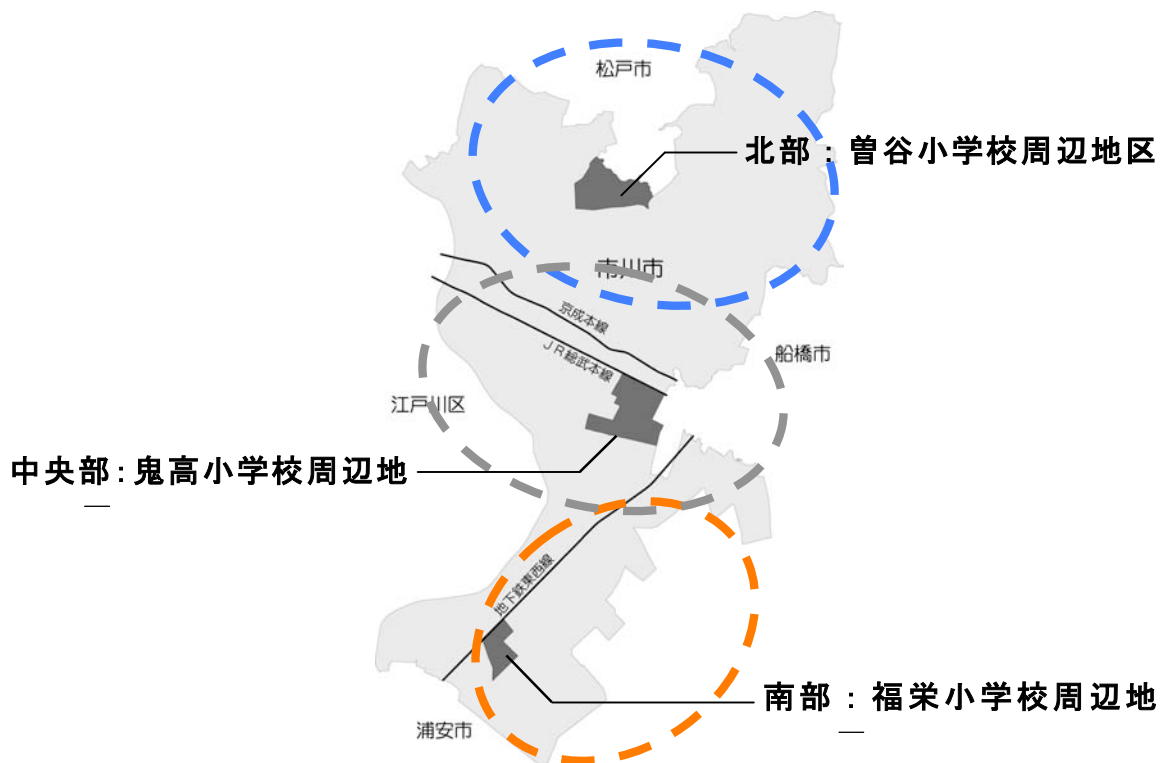
市川市は、東京都江戸川区、千葉県船橋市、浦安市、松戸市、鎌ヶ谷市に接する人口約 47 万人の都市です。同市では、防犯に関する地域の課題を市の防犯施策に反映するとともに、地域や学校区等が主体となった自主的な計画づくりの取組みを市内全域へ普及させるため、平成 16 年度より「防犯まちづくりモデル地区調査」を実施しています。

このモデル地区調査は、地域における防犯まちづくりの具体的な進め方の検討を目的としています。また、市街地特性を反映した計画づくりを検討するため、市川市の北部、中央部、南部から 1 地区ずつモデル地区を選定しています。

鬼高小学校周辺地区… J R 沿線の複合市街地であり、戸建・共同住宅、大規模商業施設・小規模商店等が混在した、市川市中央部を代表する市街地

曾谷小学校周辺地区…戸建住宅中心の住宅地であり、農地や樹林地、低未利用地（駐車場や資材置き等）が点在する、市川市北部を代表する市街地

福栄小学校周辺地区…東西線沿線の住宅地であり、碁盤目状に道路基盤が整備され共同住宅が多数見られる、市川市南部（行徳地域）を代表する市街地



曾谷小学校周辺地区とは

曾谷小学校周辺地区は、市川市の北部に位置し、松戸市に隣接する面積約 80ha の住宅市街地です。地区内は起伏に富んだ地形となっており、崖線沿いには曾谷緑地、山王緑地をはじめとする樹林地が見られ、自然豊かな潤いのある環境を形成しています。

地区の東側は、市川市の市街化が進む以前から集落が見られたところです。古くからの道筋を中心に戸建住宅が広がっており、近年では低未利用地を活用した戸建住宅の開発が見られます。農地や緑地、樹林地が多く残っており、春日神社や曾谷貝塚といった歴史資源も多く見られます。

地区の西側は、かつては国分川沿いに広がる水田地帯でしたが、昭和40年前半に土地区画整理事業により計画的に市街化されました。戸建住宅が整然と並んでおり、曾谷小学校や山王公園といった公共施設や山王商店街が立地しています。

